

2018年5月28日

各位

国立大学法人京都大学
三菱UFJキャピタル株式会社

京都大学と三菱UFJキャピタルとの 学術指導契約締結のお知らせ

国立大学法人京都大学（学長：山極 壽一、所在：京都府京都市左京区、以下「京都大学」）と三菱UFJキャピタル株式会社（代表取締役社長：半田宗樹、本社：東京都中央区、以下「三菱UFJキャピタル」）は、学術指導契約を締結したのでお知らせいたします。

近年、国内においても医薬品や医療機器等の創出（以下「創薬等」）のためのエコシステム構築の重要性が高まり、アカデミアが公的資金を活用し自ら実施する創薬等、オープンイノベーションとして製薬会社等の事業会社とアカデミアが共同で行う創薬等、製薬会社等から開発プロジェクト切り出してベンチャー化して行う創薬等の動きが活発化しています。これら創薬等活動において重要なことは、アンメットメディカルニーズ、すなわち未だ有効な治療方法がない疾患に対する医療ニーズをしっかりと把握した上で研究開発を行うことです。

このたび、三菱UFJキャピタルが京都大学との間で学術指導契約を締結することにより、三菱UFJキャピタルは、京都大学のイノベーション・コーディネーター及び各診療分野の専門医・研究者から指導を受けることができます。三菱UFJキャピタルは、投資活動を通じて、画期的な創薬等を目指すバイオベンチャーの育成や新興市場開拓に活かしていきます。また、三菱UFJキャピタルは、京都大学が開設したイノベーションハブ京都での活動に支援してまいります。

これらの活動は、日本の創薬等のためのエコシステムの進展に寄与するものと考えています。

<イノベーションハブ京都について>

大学で生まれた研究成果を社会に還元するまでには、研究者による科学的検証に加え、様々な企業の専門家等との協力体制を作り、多方面から実証することが大切です。京都大学は、大学の研究成果を実用化するためのイノベーションエコシステムを大学の中に整備する取り組みの一環としてイノベーションハブ京都を2017年に開設しました。実験スペースや実験設備の提供に加え、種々の交流・支援プログラムの提供など、研究成果の事業化を目指すアカデミア研究者、ベンチャー企業、新規事業開拓を目論む企業のための様々な支援策を準備しています。

<三菱UFJキャピタルについて>

三菱UFJキャピタルは、幅広い業種に対する投資を行っています。創薬等のライフサイエンス分野においては、2017年2月に設立した三菱UFJライフサイエンス1号投資事業有限責任組合（LSファンド）を組成し、バイオベンチャー企業への投資に留まらず、アカデミア創薬への投資、製薬会社の自社開発プロジェクトやスピンアウト・カーブアウト案件への投資にも注力しています。

以 上

【お問い合わせ先】

京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 メディカルイノベーションセンター2F
寺西 豊
TEL：075-751-0909

三菱UFJキャピタル株式会社
企画部・創持、投資企画部・辻井
〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目7番17号
TEL：03-5205-8581